

■■受験対策ミニ講座 2号 2017■■

今年是全国的に秋の訪れが早いようですが、皆さま、いかがお過ごしですか？

試験対策は秋からが本番です。ここからスタートして合格した先輩はたくさんいます。そろそろ本腰をいれていきましょう。今回は「ソーシャルワークとは何か」について考えましたが、今回は「ソーシャルワークのグローバル定義」に関する過去問を解いてみましょう。これに関する問題は28・29回で連続出題されています。

【問題2：(29回 92 相談援助の基盤と専門職)】

「ソーシャルワークのグローバル定義 2014年」におけるソーシャルワークの中核をなす原理として、正しいものを1つ選べ

- 1 個人的正義
- 2 集団主義
- 3 自民族中心主義
- 4 自己責任
- 5 多様性尊重

正解と解説は最後に記載しています。

■Plus Column

【合格への道】

当養成所にはたくさんの頼もしい先輩諸氏がいます。先輩たちの合格体験（または不合格体験も含めて）を傾聴させてもらうことは、とても役に立ちまた孤独になりがちな通信教育では心の励みにもなります。

Aさんの場合、本格的に準備を始めたのは10月に入ってからだといいます。1日3時間、休日は12時間勉強すると決め、過去問3年分に取り組みました。×の選択肢のどこを直せば○になるか、自分の言葉で説明できるようになるまで、テキストに立ち戻り、ネットや解説書も活用しながら、徹底的に書き出して勉強したそうです。その結果、苦手だった科目も試験では満点だったというから、本当に努力の人ですね。

計画は最初にしっかりたてたそうです。お腹いっぱい食べてしまうと眠くなるから腹八分目にするように心がけ、息抜きの日も入れて家族との時間も大切にしたいそうですが、最後の方では気がつくやうに円形脱毛ができていたそうです。まさに身も心も削っての取り組みでしたが見事に1回で合格。合格後は自分に自信が持てるようになり、周囲からの目も大きく変わったといいます。今、Aさんは合格と同時に、職場で新事業の担当をまかされ、実に生き生きと楽しそうに働いています。

さあ、皆さんもまずは、学習計画を立て、自分にあった参考書を選びましょう。ちなみにAさんの場合、「最後まで中央法規出版のテキストを徹底的に使ったけど、もう一冊、参考書として比較的やさしく解説されているユーキャンの分厚い1冊を選んだ」そうです。「出遅れた」と思っているあなた、まだまだ大丈夫！Aさんに続いて合格への道を突き進みましょう。色々な人の合格体験はホームページにも掲載しています。

(http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=31)

当養成所の受験対策講座もぎりぎりまで受付が可能です。一度お問い合わせください。

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

【問題2：(29回 92) の正解と解説】

「グローバル定義の中核をなす原理」として正しいのは5。欧米諸国の価値観が反映された2000年の定義からの変更点について問う問題でした。

1×個人的正義：定義には「社会的正義」が掲げられています。

2×集団主義：定義にあるのは「集団的責任」という言葉です。

3×自民族中心主義：「地域・民族固有の知」「先住民の知」が強調されています。

4×自己責任：定義の注釈では「人権と集団的責任の共存」として、人々が互いにそして環境に責任をもつことで個人の権利が実現されること、共同体の中での互恵的な関係を確立することが強調されています。

5○多様性尊重：定義の注釈では、人種・階級・言語・宗教・ジェンダー・障害・文化・性的指向などの多様性を尊重することが強調されています。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19KDX 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus

発信者： 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
